

Rotary



世界に希望を生み出そう

CREATE HOPE in the WORLD



国際ロータリー 第2550地区

宇都宮東ロータリークラブ会報

<http://www.ri2550uerc.gr.jp/>

会 長 石川 元信

幹 事 谷田部 修

会報・雑誌委員長 田崎 信孝

例会場 宇都宮市大通り2-4-6 ホテルニューイタヤ

例会日 毎週火曜日(12:30~)

事務局 ホテルニューイタヤ内 宇都宮東ロータリークラブ TEL.028-638-5125 FAX:5128

通算3019号 2023年10月17日(晴れ) 第15回例会 会員数106名

ハイブリッド例会



点 鐘 石川(元) 会長
司 会 副SAA 谷田部(勝) 会員

◇ロータリーソング「我等の生業」

◇本日のランチ 小付 煮物 豚ロースカツピザ風
香の物 汁 御飯 デザート

ビジター紹介 小林(正) 副会長

◇卓話講師 栃木県知事 福田 富一様(名誉会員)

随 行 秘書 峰岸 利光様



会長挨拶 石川(元) 会長

皆様、こんにちは。バッチはお付けいただきましたでしょうか。知事からの「いちご一会」のバッチで、一期一会といちごをかけているようです。今日は、一期一会についてお話いたします。一期一会ということで、何気なく我々使っていますが、最初に出てきたのが、井伊直弼の「茶湯一会集」ということです。茶の湯においては一期一会が大事である。同じ主人と客でも、この茶事はこの世で一回の茶事だから、心を込めてする、ということが書いてあったということです。我々禅宗では、一期ということは一生涯ということ。この世に生まれてくるが大変ありがたいということ、かけがえのない一生であるということを言います。「生死事大 無常迅速 時人不待 謹勿放逸」といわれるのですが、ここで皆さんとは毎回毎回お会いしますが、今日、この一瞬の出会いはこちらだけです。このご縁を大切にしていきたいということだそうです。栃木県に来ていただく方も一期一会、ということはいちごとかけたと思えますが、いちごと一期一会もひとつのご縁、皆様とここで会いすることもいいご縁、今日、大切な栃木県の県政についてお話をいただくのも一つの

大きなご縁です。この一瞬を大切に過ごしていきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願ひいたします。



幹事報告

谷田部(修) 幹事

◇地区大会本会議について

開催日11月12日(日)

◇レターBOXにガバナー公式訪問の写真配布。



委員会報告

◇スマイルボックス委員会

関副委員長

手塚正智会員

今年も無事にジャパンカップサイクルロードレースを終えられました。ありがとうございます。

菊地正幸会員

下野新聞でLRTデザイン缶が紹介されました。



卓 話

「県政について」



栃木県知事 福田富一様(名誉会員)

皆様、こんにちは。県政につきまして、ロータリアンの皆様方には、日々ご支援をいただいておりますことに心から御礼申し上げます。先ほどジャパンカップサイクルロードレースのお話が

りましたが、今年は30年ということで、節目の年を迎えました。回を重ねるごとに、世界トップレベルの選手が沢山来てくれていると思います。今回はツール・ド・フランスと一緒にレベルになりますので、ますますレースの価値が高まると思っております。今年は栃木県誕生150年という節目の年でもあります。一年間を通して様々な事業を、来年の3月まで、県、市、町、企業、団体等と連携をしまして、誕生150年記念のイベントを数多く行いたいと思います。ホームページで公表していますので、近くでそういう催しがありましたら、是非、ご協力よろしくお願いいたします。

都道府県魅力度ランキング（ブランド総合研究所調べ）が発表されました。栃木県は39位で、昨年40位から1つアップしました。2015年（平成27年）の35位が過去最高で、2020年は47位と最下位で、知事選の争点にもなりましたが、やっと30台に突入することができました。もう少し上がっていきけるように取り組んでいきたいと思っています。他に寺島実郎さんが他の都道府県ランキングを毎年本に出していますが、栃木県は30位前後になっています。県民の歌がカラオケに入っているのですが、平成26年頃、栃木県の魅力度を上げようと議会で話題になった時、第一興商が社会貢献活動として県民の歌をカラオケに入れてくれました。全国どこに行っても、県民の歌が歌えるようになっていきます。皆様もカラオケに行った時は是非、歌っていただければと思います。

LRTが30年の歳月を経て開業することができました。全国的に取り上げられて、テレビや新聞等で報道してくれています。今のところ出だしは好調です。これから先は、いつ西側の延伸の工事にかかるかに注目が移って参ります。コンセーレまで行く計画になっているようです。全国から路面電車の会社の役員が視察に来てくれているそうです。「グッドデザイン賞」を貰った車両や、揺れないことなどに驚いて帰るそうです。

33年ぶりに出来上がった「エコグリーンとちぎ」、管理型の最終処分場で9月15日から処分の受け入れが始まりました。管理型の最終処分場は今まで栃木県にはなかったもので、県外に持って行って処分して貰っていました。「エコグリーンとちぎ」は屋根があり壁もあり、雨水が入ってき

ません。浸出水を浄化した後、廃棄物への散水に利用する循環型で排水は外に流しません。施設そのものが環境学習施設ということで、これから社会科見学等で子どもたちも含めて大勢の方々を受け入れていきたいと思っています。

日光の杉並木ですが、松平正綱・正信親子が徳川家康の33回忌に向けて5万本の杉の苗を植え始めたのが1625年です。2年後の2025年には400年の節目の年を迎えます。日光市もイベントを考えているようです。県も検討がはじまったところでございます。また同じ年の2025年、古河機械金属が創業150周年を迎えます。この節目に、今流に言えば事務管理棟ですが、それを復元するという工事にかかりました。2025年には南摩ダムも完成します。昭和40年代に調査がはじまって、竣工まで50年超です。観光施設にも使いたいのので、今、取組みを進めています。吊り橋やジップライン等も作り、お客様を迎えたいと思っています。

150年の節目でいろいろなことを勉強しながら、後半戦、栃木の魅力を高められるようにしっかり取り組んで参りたいと思います。そのためには、少子化対策など、喫緊の課題をなんとかしていかなければなりませんので、出来ることをしっかりやって成果を上げたいと思います。直近の数字で、女性が生涯に産む子供の数は、栃木県は1.24で、全国平均の1.26を下回っています。男性が家事に携わる時間が短いほど出生数は低い、というデータもでていきますので、その対策も行いたいと思います。女性の負担を軽くすると数字が改善していく可能性があると思っています。また、栃木結婚センター「ベリーマッチング」で出会いを提供しています。栃木県の出生数は第二次ベビーブームの時は約31,000人でしたが、昨年は15,000人で、今年は10,000人切ると思います。ということは、皆さんの会社で働く人も不足してしまうということにもつながります。そうならないようにしっかり取り組んで参ります。どうぞ、引き続きお力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

※「いちご一会」のバッチ、各種資料が配布されました